

身近な野菜のバイオサイエンス

講師: **池田 裕樹** 助教
宇都宮大学農学部附属農場



園芸学では野菜、果樹、花きといった非常に多くの植物を研究対象としています。私はこれまで園芸作物の中でも、トマトやタマネギなど国内外で需要の高い野菜を中心に、品質や生産性の向上を目的とした基礎研究を行ってきました。トマトでは、現在市場に流通している品種の祖先である近縁野生種の染色体の一部を栽培種に導入した染色体断片置換系統を用いて、果実の品質に関する研究を行ってきました。タマネギについては、可食部(りん茎)が肥大するメカニズムについて研究を行ってきました。どちらも多くの人にとって身近で欠かせない野菜である一方、個体レベルでも分子レベルでも明らかになっていない現象や、農業生産上解決すべき課題が沢山残っています。今回のセミナーでは、私がこれまでトマトとタマネギを用いて取り組んできた研究について、宇都宮大学で今後どのような研究を進めていくかも含めて紹介していきます。

日時:6月19日(火) 15:30~
場所:ゲノミクス研究棟2階
セミナー室